

R8.3.24 令和7年度学位記授与式 祝辞

(本日はおめでとうございます。理事長の小林は余儀ない所用のため、出席が叶いませんでした。お祝いのメッセージを預かってきておりますので、事務局長の増田から披露させていただきます。)

奈良先端科学技術大学院大学の令和7年度学位記授与式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日、学位記を受けられました皆様、博士前期(後期)課程を修了されたこと、誠におめでとうございます。また、ご家族の皆様や塩崎学長をはじめご指導に当たられた教職員の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

中国儒教の経典のひとつ「^{だいがく}大学」に

「^{まこと}苟^ひに^{あら}日に新たに、^{ひび}日々^{あら}に新たに、^{またひ}又日に^{あら}新たなり」

という言葉があります。毎日新たな気持ちで新たな学びを続けていくことで、自分も成長し周りにもいい影響を及ぼすことが大切だ、と言う意味です。

日本は、過去の成功体験から抜け出せず、変化を恐れ、従来のやり方に捉われ続けたため、革新的な製品やサービスを生み出せず、長らく停滞の時を過ごしてきました。

^{さくじつ}昨日^{こんにち}と同じ今日を繰り返していたのでは成長は期待できません。常に問題意識を持ち、現状の改善を図り、新しいことに挑戦する姿勢が求められます。

現代社会は、複雑かつ多様で困難な問題があふれておりますが、皆様がこの大学で蓄積してこられた最先端の知識や創造力、研究力は、世界でも十分に通用するものと思います。社会に出られましても「日々新たに」を忘れず、社会の発展や人々の生活向上のために精進され、素晴らしい未来を切り開かれることを願っています。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様のご健康、ご多幸と奈良先端科学技術大学院大学のますますのご発展をお祈りいたしまして、簡単ではございますがお祝いの言葉といたします。

令和8年3月24日

公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団

理事長 小林 哲也

(本日は誠におめでとうございます。)